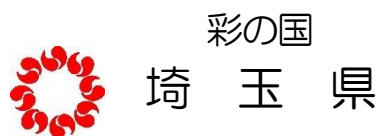


令和4年度  
埼玉県外国人住民意識調査  
— 日本語でのコミュニケーションと日常生活について —  
報 告 書



埼玉県マスコット 「コバトン」「さいたまっち」

令和5年3月



# 目 次

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	2
III	調査結果	8
	（1）日本語でのコミュニケーションについて	8
	（2）日常生活について	11
IV	調査結果の見方	23
V	調査回答画面	24

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

外国人住民の支援をはじめとする多文化共生推進施策を進めていく上での参考とするため、アンケートにより埼玉県在住の外国人住民の方の意見・要望を把握することを目的とする。

## 2 実施主体

埼玉県県民生活部国際課と（公財）埼玉県国際交流協会が共同で実施

## 3 調査期間

令和4年11月14日（月）～令和4年11月30日（水）

## 4 調査対象

県内在住の18歳以上の外国人住民

## 5 対象者数

3,000名

## 6 抽出方法

本調査に協力する市町村の住民基本台帳から無作為抽出

## 7 調査方法

URL等を記載した依頼文を郵送配布、WEB回答による回収

## 8 対応言語

やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語

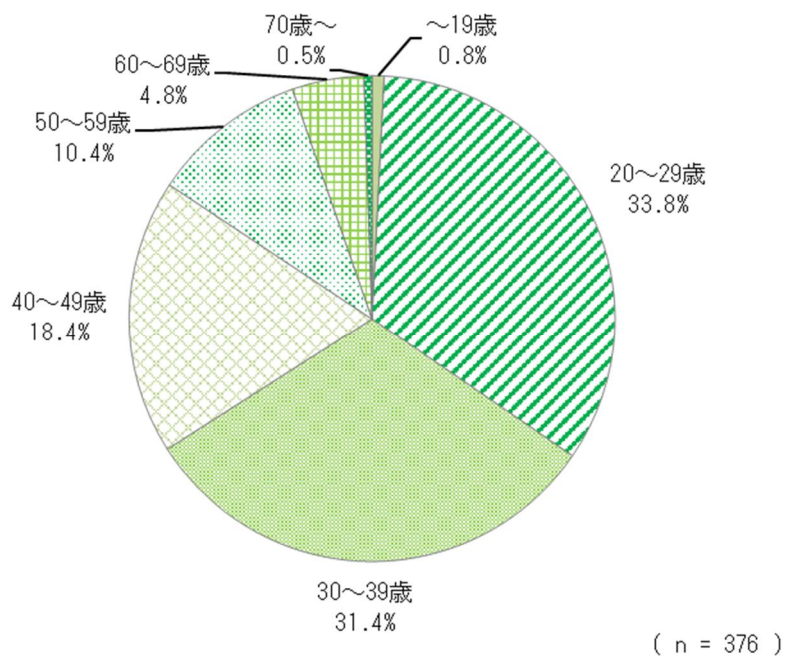
## 9 回答者数

376名（29の国と地域） ※有効回答数は、質問ごとに異なる。

## Ⅱ 回答者の属性

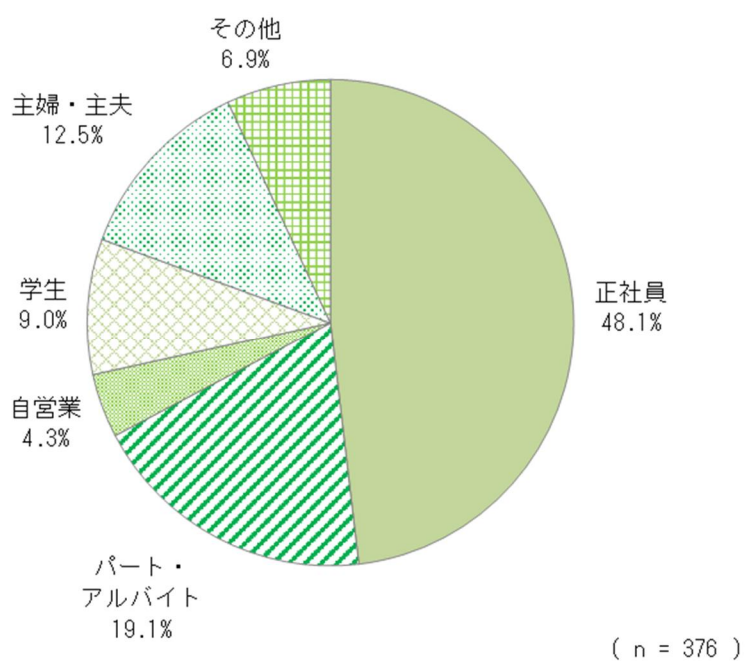
### 《 年齢 》 n=376

「20～29歳」が33.8%、「30～39歳」が31.4%、「40～49歳」が18.4%となっている。



### 《 職業 》 n=376

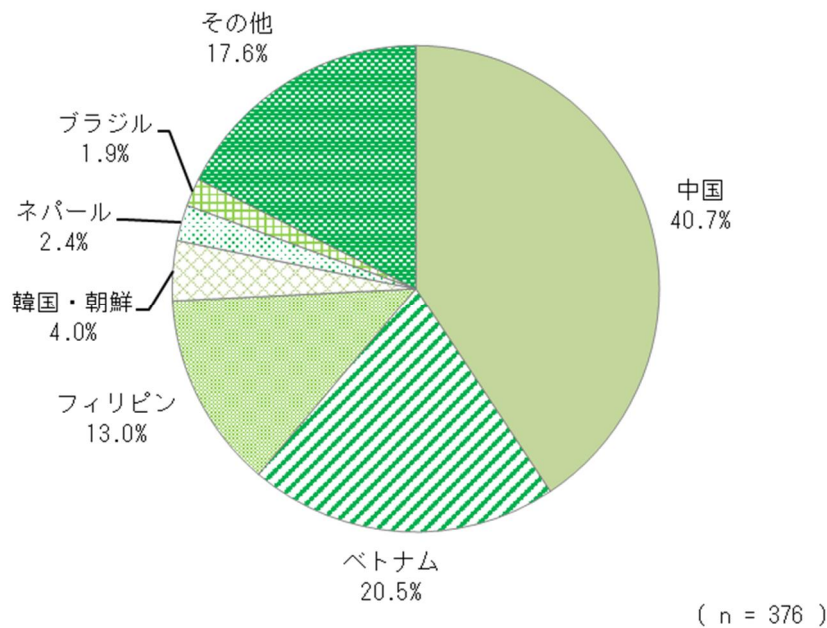
「正社員」が48.1%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が19.1%、「主婦・主夫」が12.5%となっている。



《 出身国（29の国と地域） 》 n=376

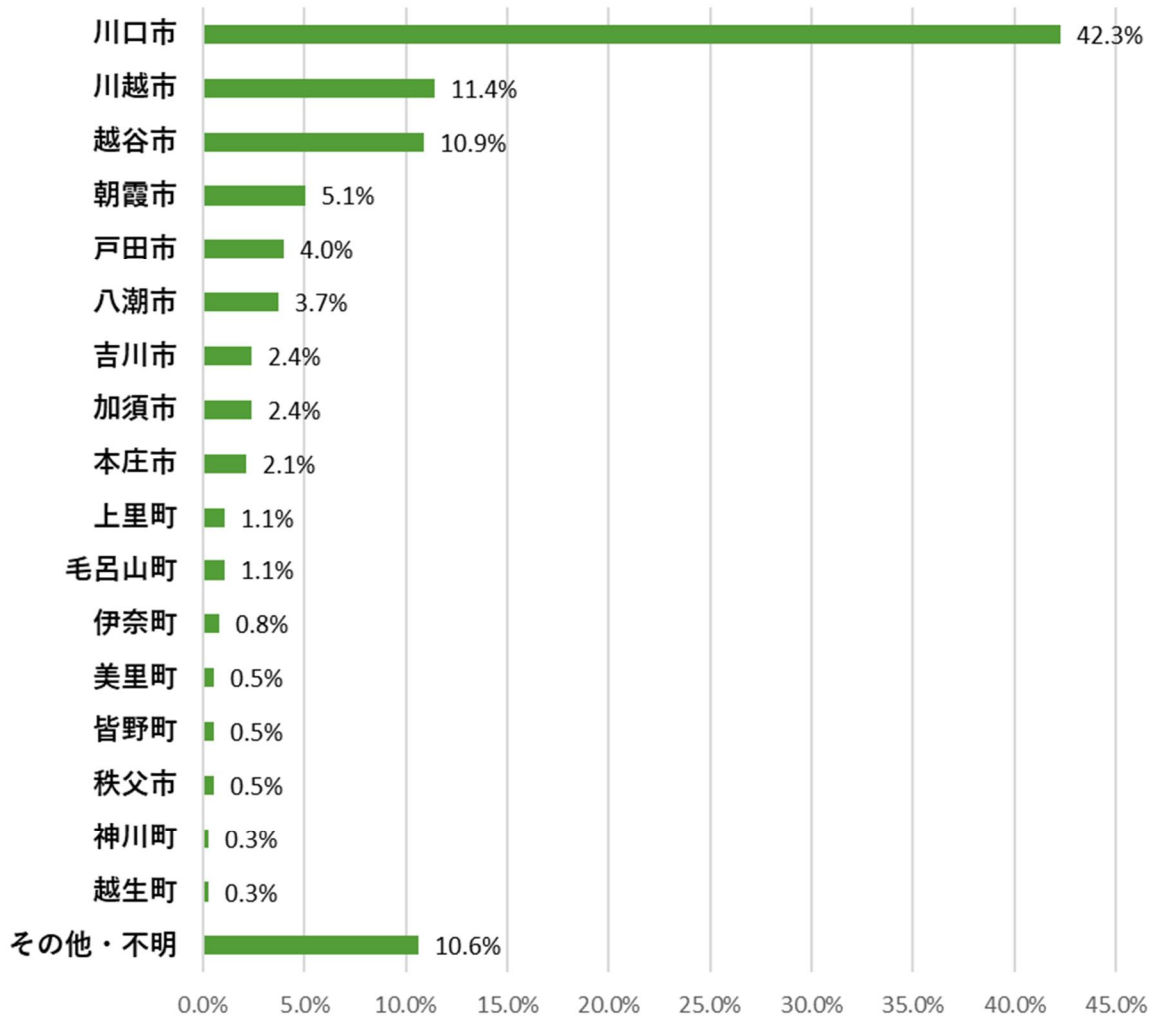
「中国」が40.7%で最も高く、次いで「ベトナム」が20.5%、「フィリピン」が13.0%となっている。

出身国	人数	割合	出身国	人数	割合
<b>アジア</b>	<b>338</b>	<b>89.9%</b>	<b>ヨーロッパ</b>	<b>11</b>	<b>2.9%</b>
中国	153	40.7%	イギリス	4	1.1%
ベトナム	77	20.5%	フランス	4	1.1%
フィリピン	49	13.0%	ウズベキスタン	2	0.5%
韓国・朝鮮	15	4.0%	スペイン	1	0.3%
ネパール	9	2.4%	<b>北米</b>	<b>7</b>	<b>1.9%</b>
タイ	6	1.6%	アフリカ	5	1.3%
台湾	6	1.6%	カナダ	2	0.5%
ミャンマー	5	1.3%	<b>中南米</b>	<b>12</b>	<b>3.2%</b>
インドネシア	4	1.1%	ブラジル	7	1.9%
パキスタン	4	1.1%	ペルー	4	1.1%
インド	3	0.8%	ドミニカ共和国	1	0.3%
モンゴル	3	0.8%	<b>アフリカ</b>	<b>2</b>	<b>0.5%</b>
バングラデッシュ	2	0.5%	ガーナ	1	0.3%
マレーシア	1	0.3%	ナイジェリア	1	0.3%
スリランカ	1	0.3%	<b>中東</b>	<b>5</b>	<b>1.3%</b>
<b>オセアニア</b>	<b>1</b>	<b>0.3%</b>	トルコ	2	0.5%
オーストラリア	1	0.3%	イラン	3	0.8%
			<b>合計</b>	<b>376</b>	<b>100%</b>



《 居住地 》 n=376

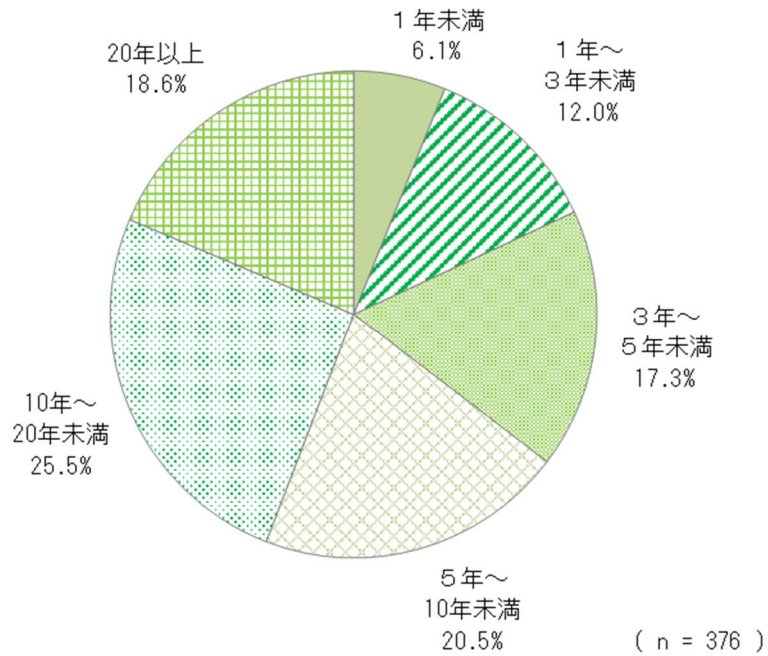
「川口市」が42.3%で最も高く、次いで「川越市」が11.4%、「越谷市」が10.9%となっている。



(n=376)

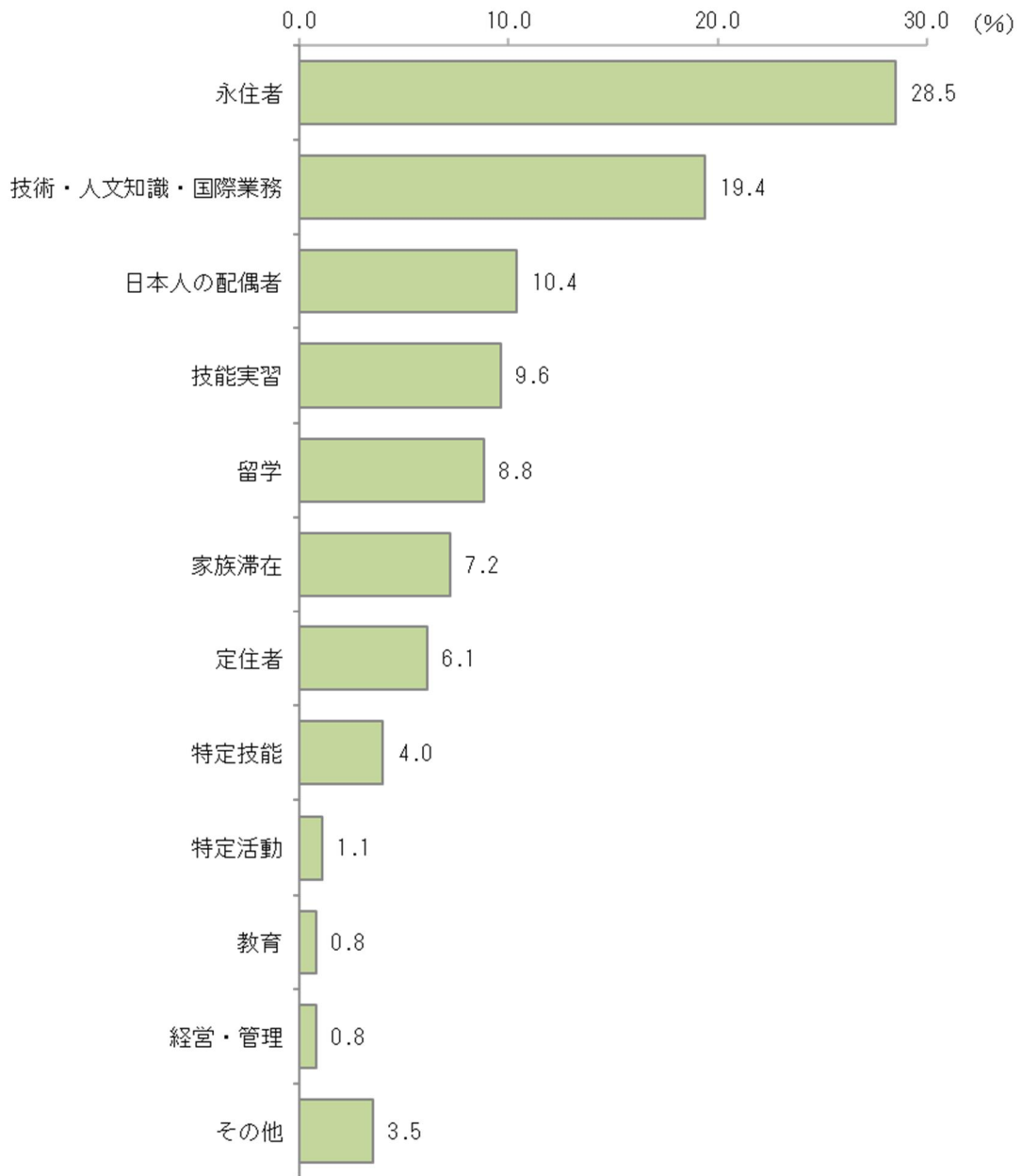
《 日本に居住している期間 》 n=376

「10年～20年未満」が25.5%、「5年～10年未満」が20.5%、「20年以上」が18.6%、「3年～5年未満」が17.3%、「1年～3年未満」が12.0%となっている。



《 在留資格 》 n=376

「永住者」が28.5%で最も高く、次いで「技術・人文知識・国際業務」が19.4%、「日本人の配偶者」が10.4%となっている。

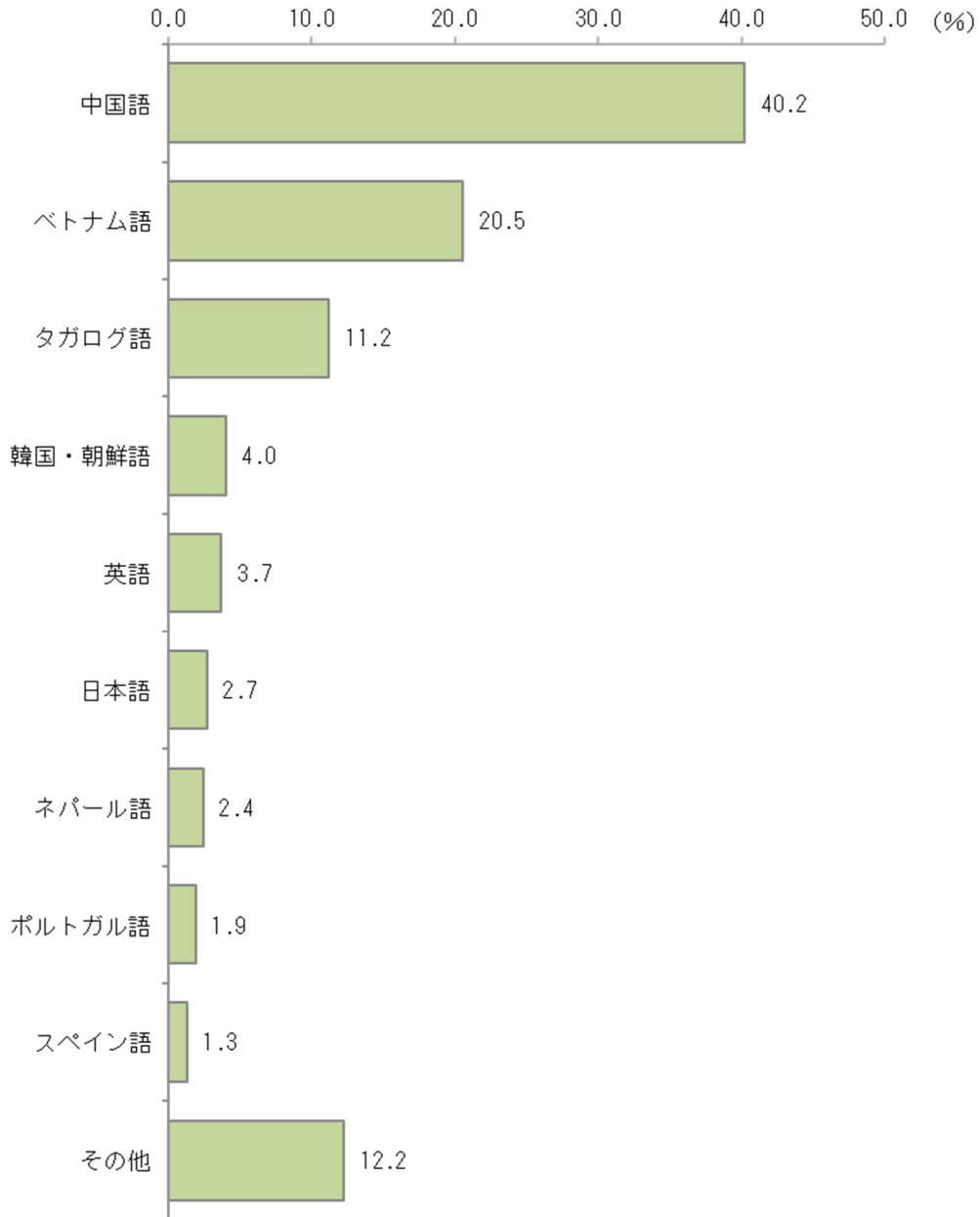


( n = 376 )



《 母国語 》 n=376

「中国語」が40.2%で最も高く、次いで「ベトナム語」が20.5%、「タガログ語」が11.2%となっている。



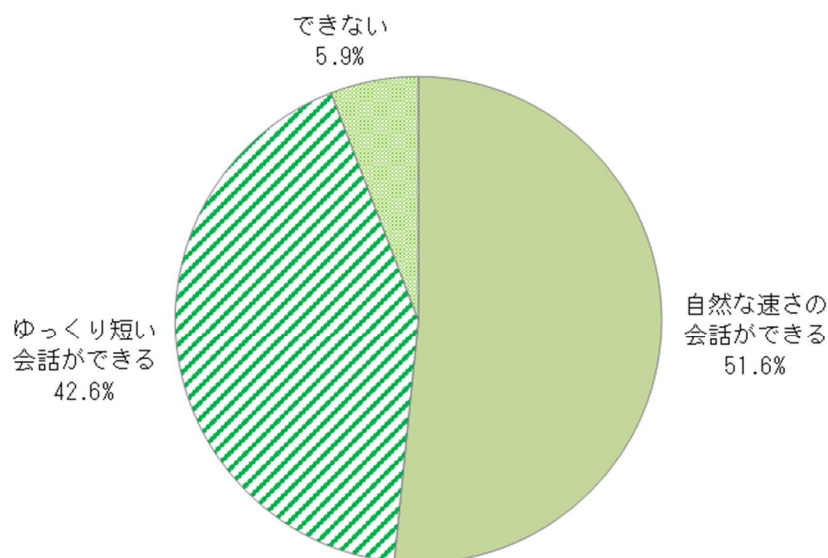
( n = 376 )

### Ⅲ 調査結果

#### (1) 日本語でのコミュニケーションについて

Q1. あなたは日本語でどれくらい会話をできますか。(ひとつだけ)

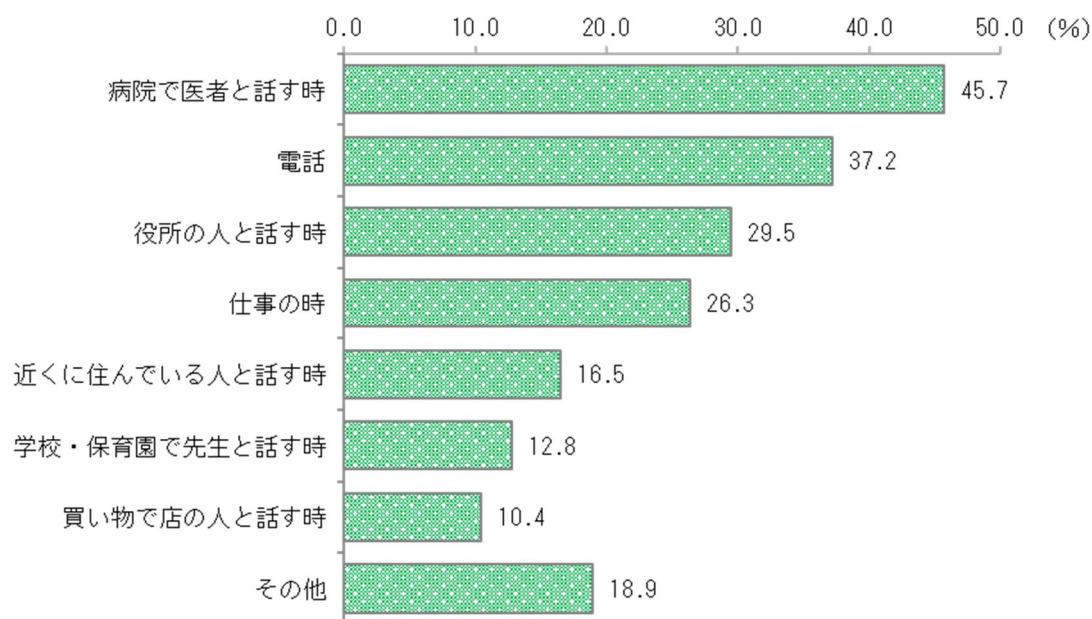
「自然な速さの会話ができる」が51.6%、「ゆっくり短い会話ができる」が42.6%となっている。



( n = 376 )

Q2. 日本人と話して、困った時は、次のうちどれですか。(あてはまるものぜんぶ)

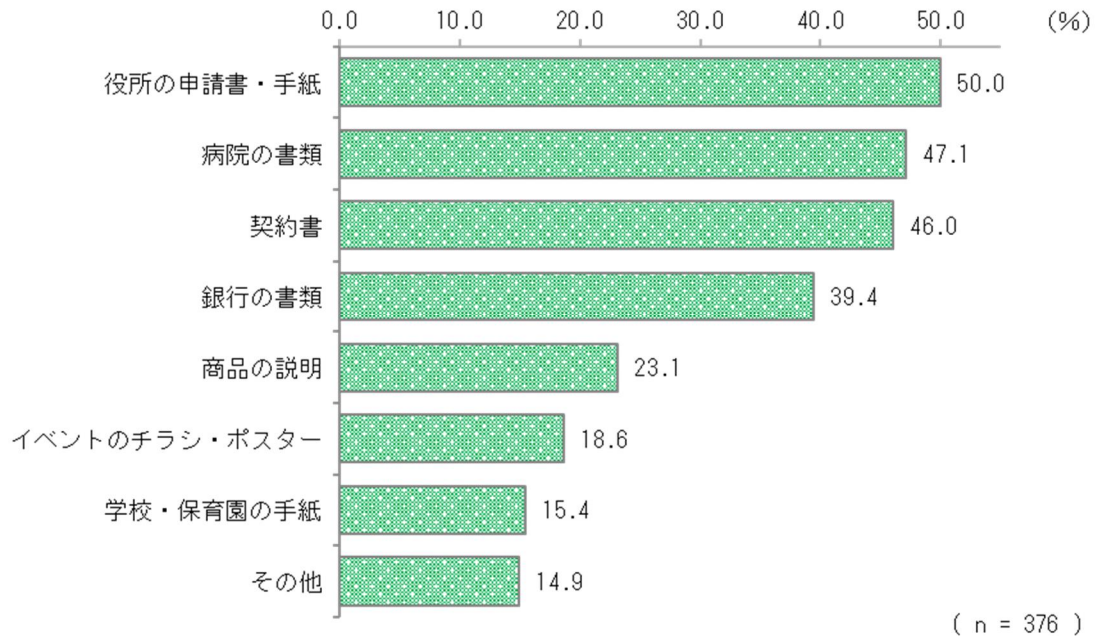
「病院で医者と話す時」が45.7%で最も高く、次いで「電話」が37.2%、「役所の人と話す時」が29.5%、「仕事の時」が26.3%と続いている。



( n = 376 )

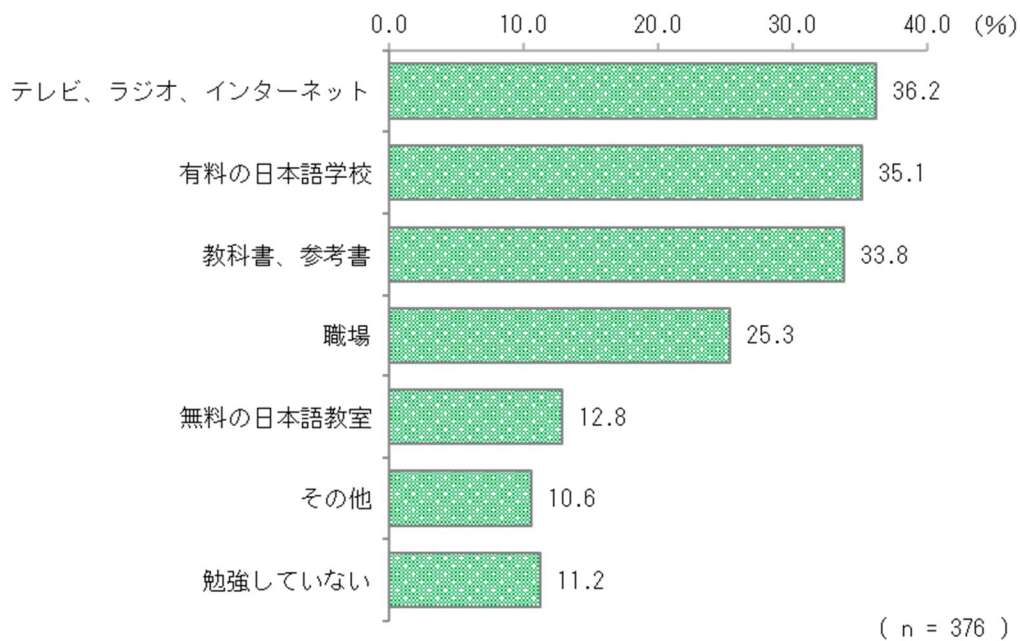
Q3. 日本語を読む時に難しかったのは、次のうちどれですか。(あてはまるものぜんぶ)

「役所の申請書・手紙」が50.0%で最も高く、次いで「病院の書類」が47.1%、「契約書」が46.0%、「銀行の書類」が39.4%と続いている。



Q4. あなたは、どうやって日本語を勉強していますか。(あてはまるものぜんぶ)

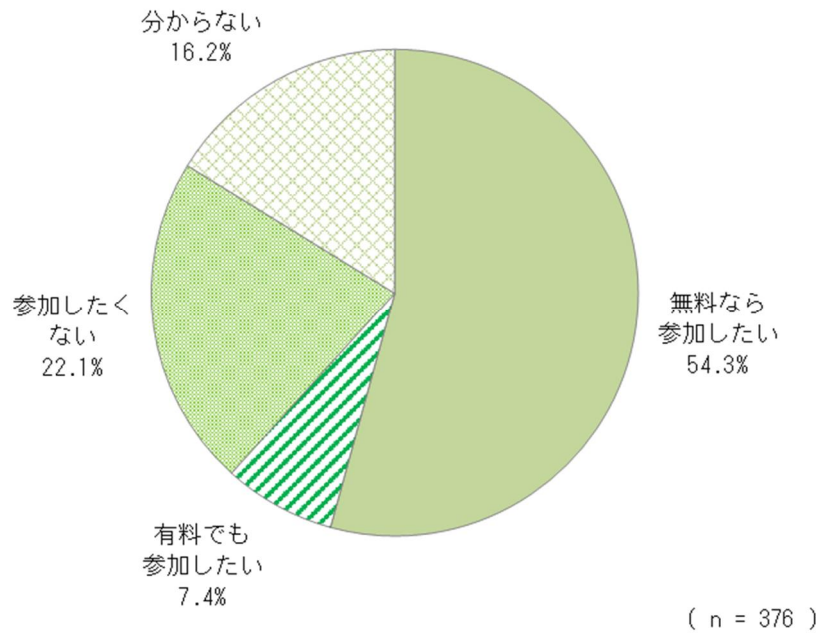
「テレビ、ラジオ、インターネット」が36.2%で最も高く、次いで「有料の日本語学校」が35.1%、「教科書、参考書」が33.8%、「職場」が25.3%と続いている。



Q5. オンライン日本語教室があったら参加したいと思いますか。(ひとつだけ)

「無料なら参加したい」が54.3%となっている。

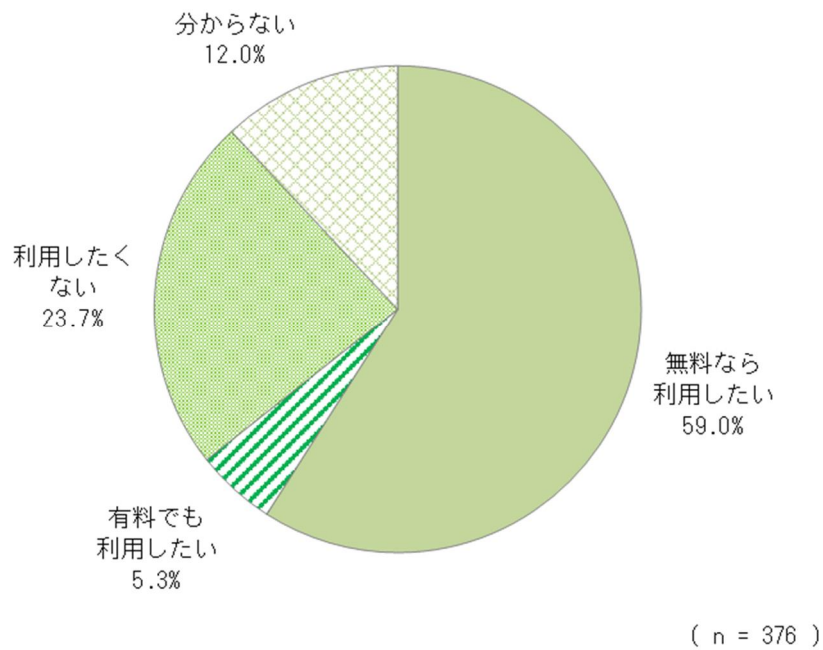
一方、「参加したくない」が22.1%となっている。



Q6. オンラインでの通訳サービスがあったら利用したいと思いますか。(ひとつだけ)

「無料なら利用したい」が59.0%となっている。

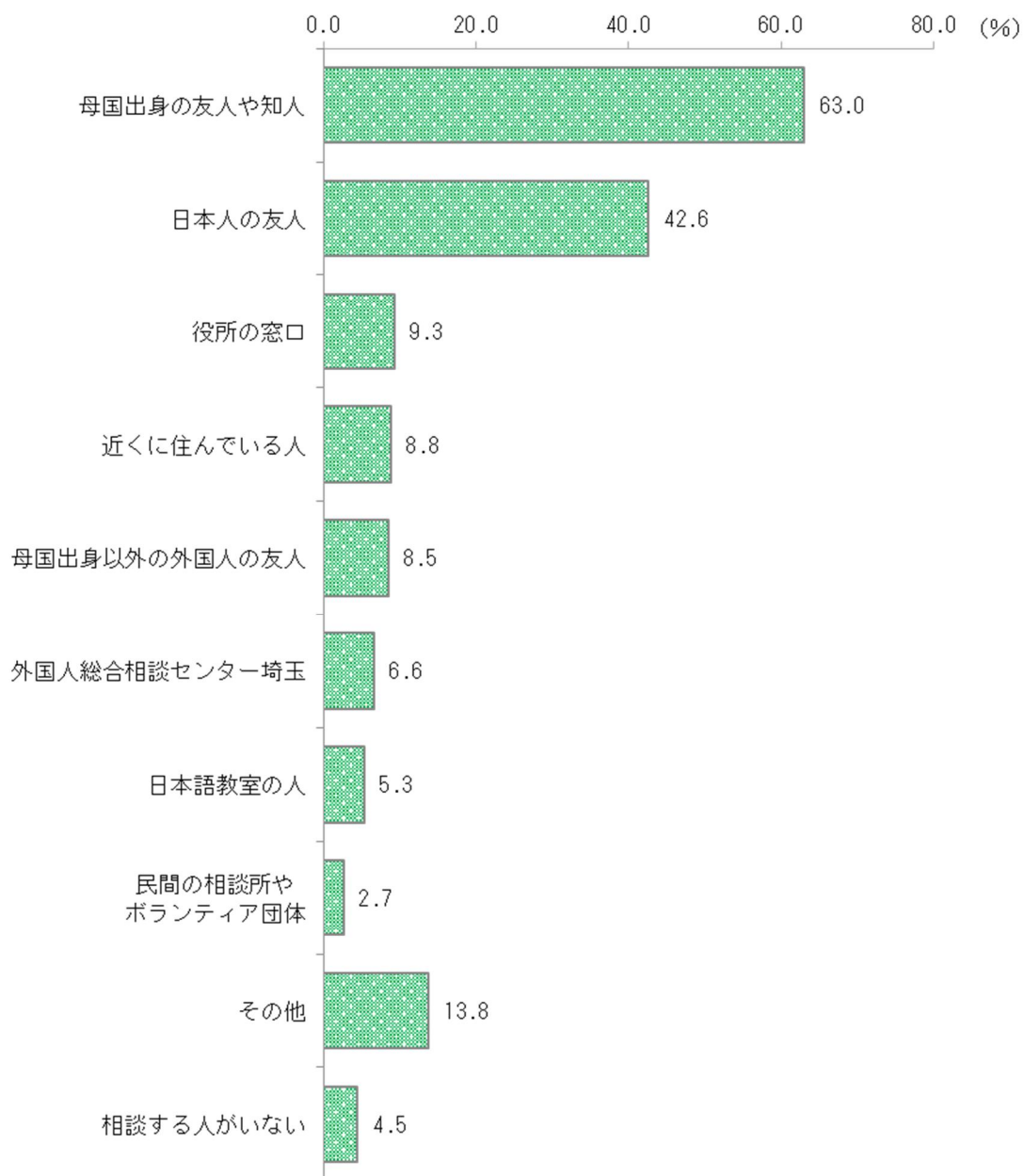
一方、「利用したくない」が23.7%となっている。



## (2) 日常生活について

Q7. 生活の中で困ったときに誰に相談しますか。(あてはまるものぜんぶ)

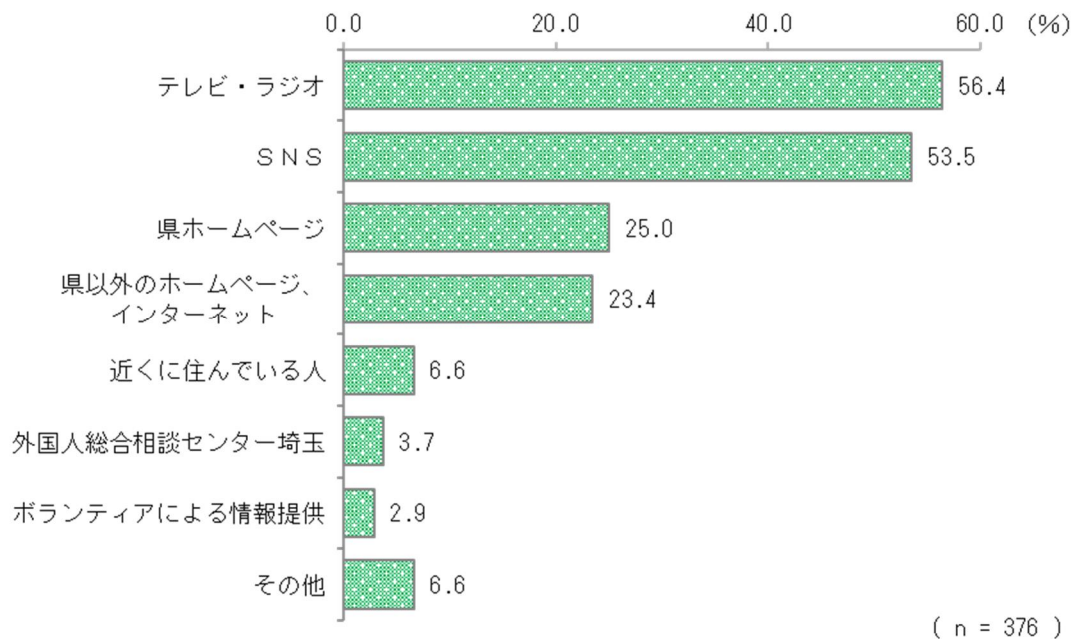
「母国出身の友人や知人」が63.0%で最も高く、次いで「日本人の友人」が42.6%となっている。



( n = 376 )

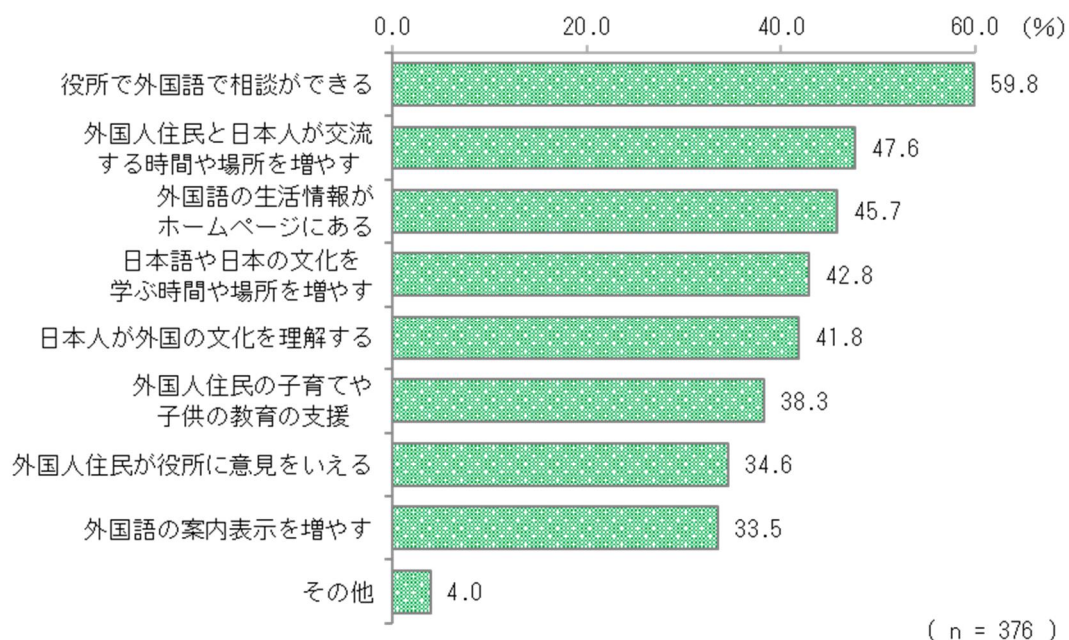
Q8. 災害や感染症についての情報を、どのように受け取っていますか。  
(あてはまるものぜんぶ)

「テレビ・ラジオ」が56.4%、「SNS」が53.5%となっている。



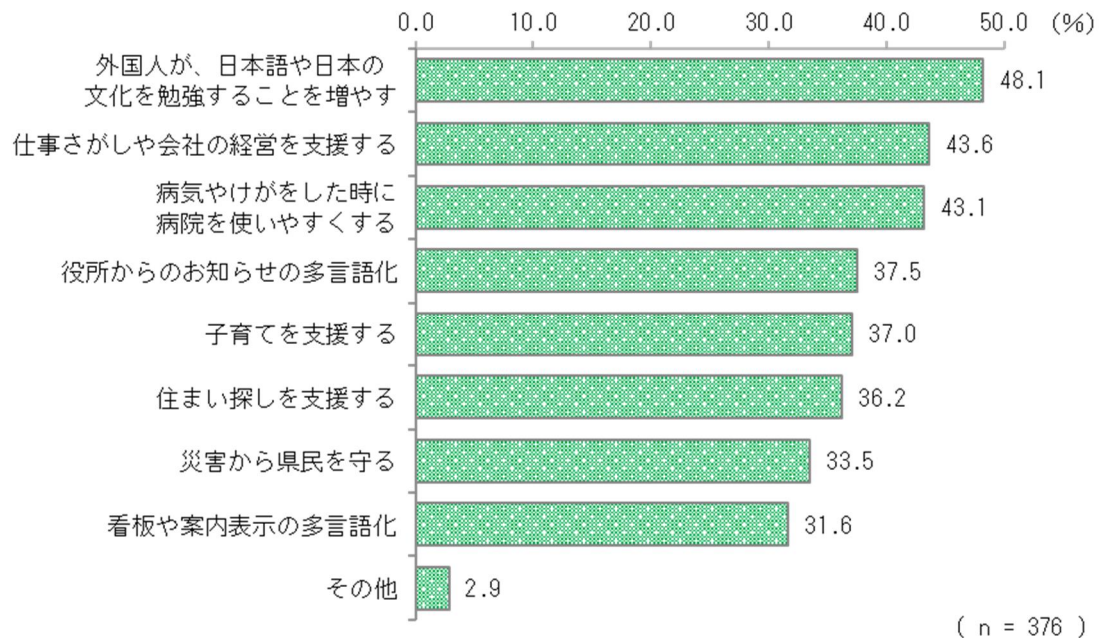
Q9. 外国人住民が暮らしやすい地域にするために何が必要だと思いますか。  
(あてはまるものぜんぶ)

「役所で外国語で相談ができる」が59.8%で最も高く、次いで「外国人住民と日本人が交流する時間や場所を増やす」が47.6%、「外国語の生活情報がホームページにある」45.7%、「日本語や日本の文化を学ぶ時間や場所を増やす」が42.8%、「日本人が外国の文化を理解する」が41.8%と続いている。



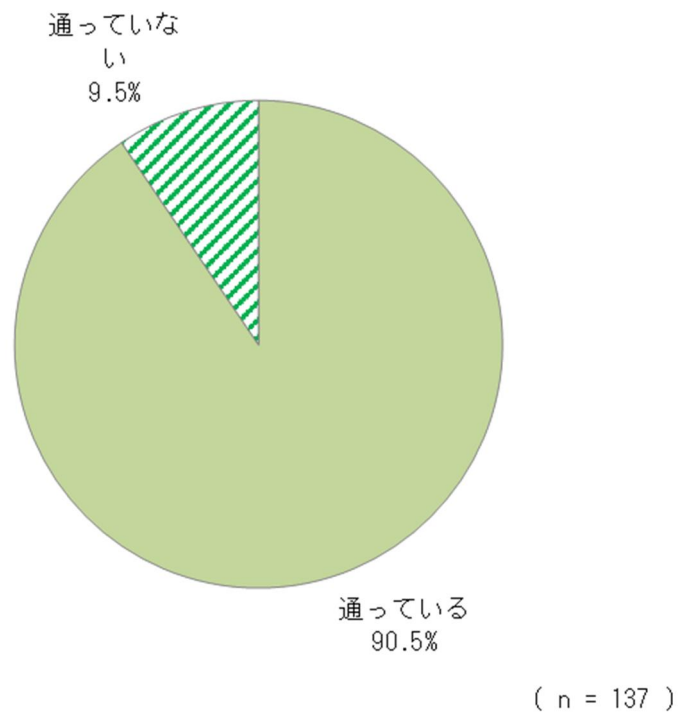
Q10. 役所にしてほしいことは何ですか。(あてはまるものぜんぶ)

「外国人が、日本語や日本の文化を勉強することを増やす」が48.1%で最も高く、次いで「仕事さがしや会社の経営を支援する」が43.6%、「病气やけがをした時に病院を使いやすくする」が43.1%、「役所からのお知らせの多言語化」が37.5%、「子育てを支援する」が37.0%と続いている。



Q11-1. 家族に小学校・中学校・高校に行く年齢の子どもがいる人に聞きます。  
学校に通っていますか。(ひとつだけ)

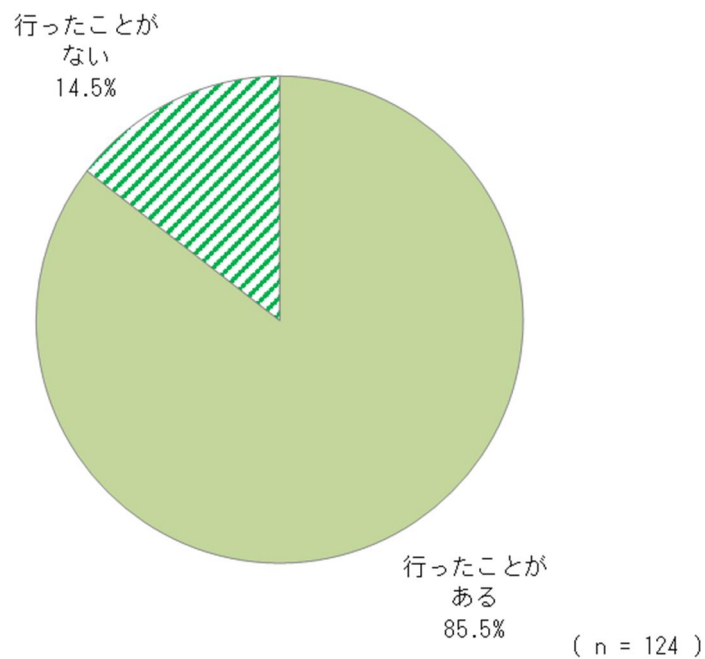
「通っている」が90.5%、「通っていない」が9.5%となっている。



《Q11-1で「通っている」と答えた人への質問》

Q11-2. 子どもの学校へ行ったことがありますか。(ひとつだけ)

「行ったことがある」が85.5%となっている。

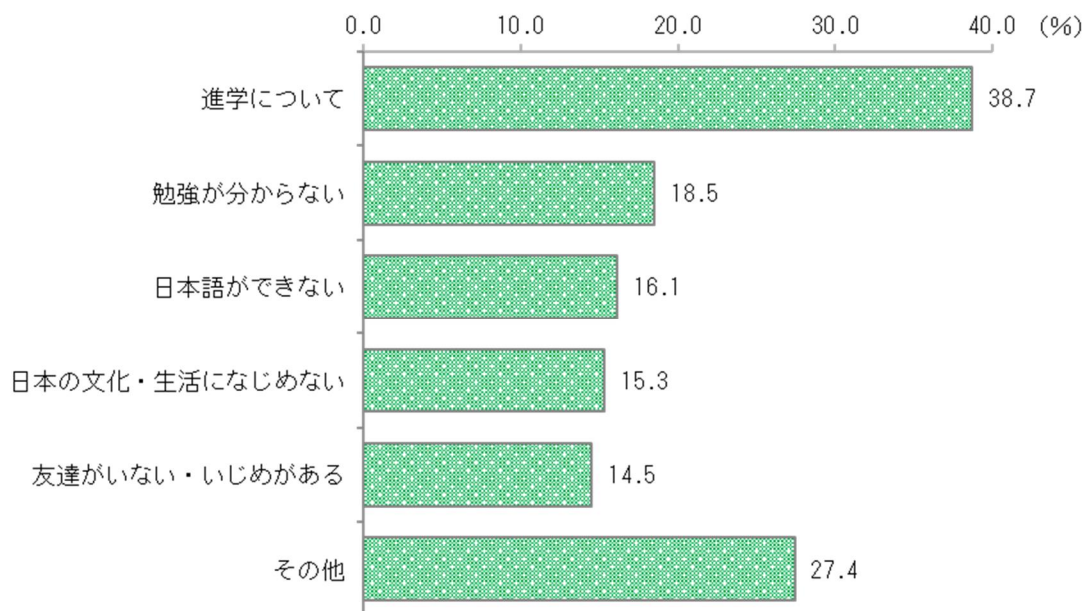




《Q11-1で「通っている」と答えた人への質問》

Q11-3. 子どもの教育で困ったことはありますか。(あてはまるものぜんぶ)

「進学について」が38.7%で最も高く、次いで「勉強が分からない」が18.5%、「日本語ができない」が16.1%、「日本の文化・生活になじめない」が15.3%、「友だちがいない・いじめがある」が14.5%となっている。

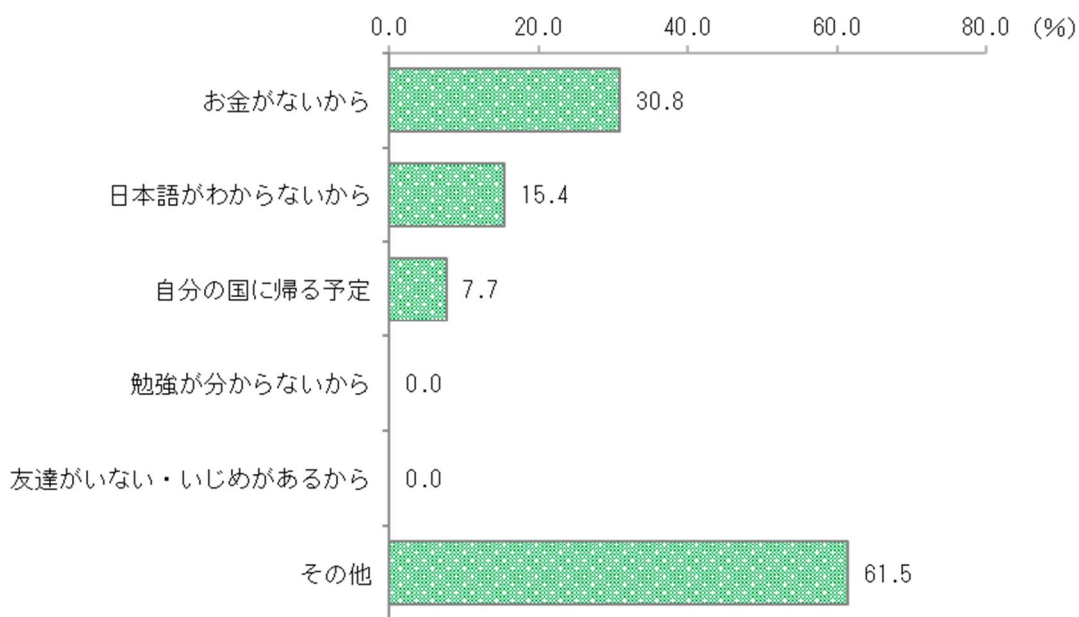


( n = 124 )

《Q11-1で「通っていない」と答えた人への質問》

Q11-4. なぜ学校に通っていないのですか。(あてはまるものぜんぶ)

「お金がないから」が30.8%で最も高く、次いで「日本語がわからないから」が15.4%となっている。「その他」の回答としては「子どもが母国に住んでいるため」等であった。

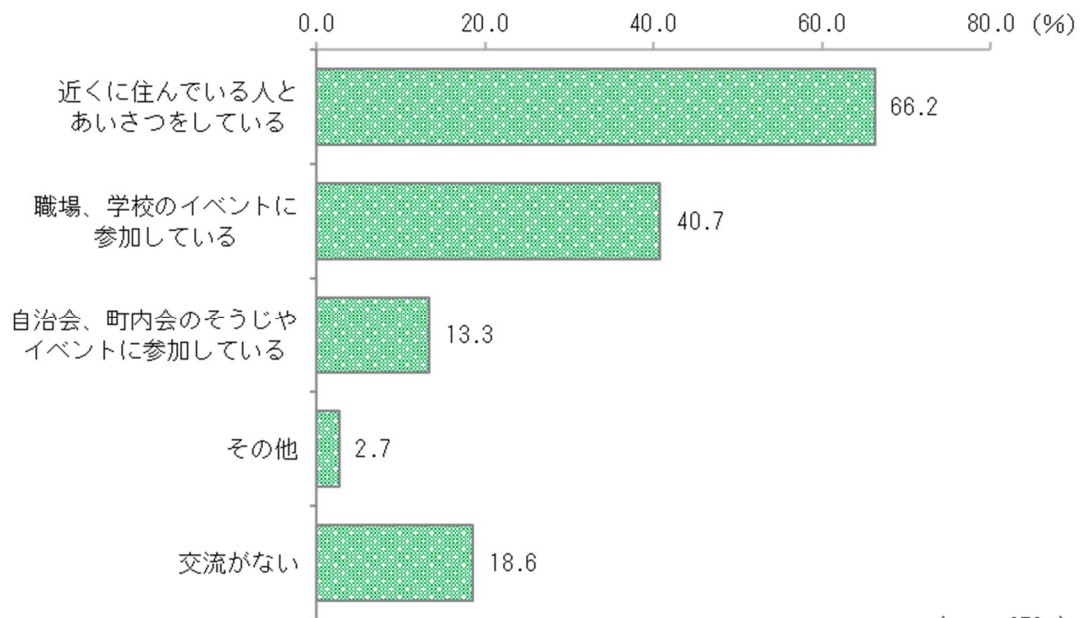


( n = 13 )

Q12-1. 住んでいる地域で、日本人とどのような交流をしていますか。

(あてはまるものぜんぶ)

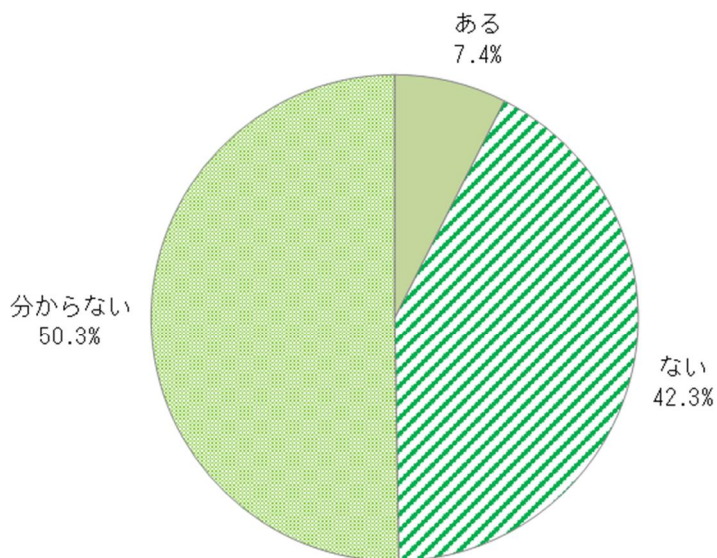
「近くに住んでいる人とあいさつをしている」が66.2%で最も高く、次いで「職場、学校のイベントに参加している」が40.7%となっている。



Q12-2. 住んでいる地域で同じ国の人や同じ宗教の人たちのコミュニティはありますか。

(ひとつだけ)

「ある」が7.4%、「ない」が42.3%、「分からない」が50.3%となっている。

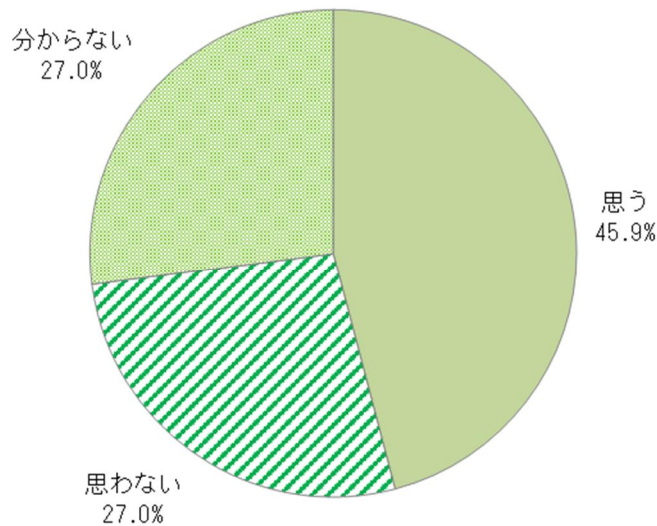


( n = 376 )

《Q12-2で「ない」と答えた人への質問》

Q12-3. 住んでいる地域で同じ国の人や同じ宗教の人たちのコミュニティがあったらよい  
と思いますか。(ひとつだけ)

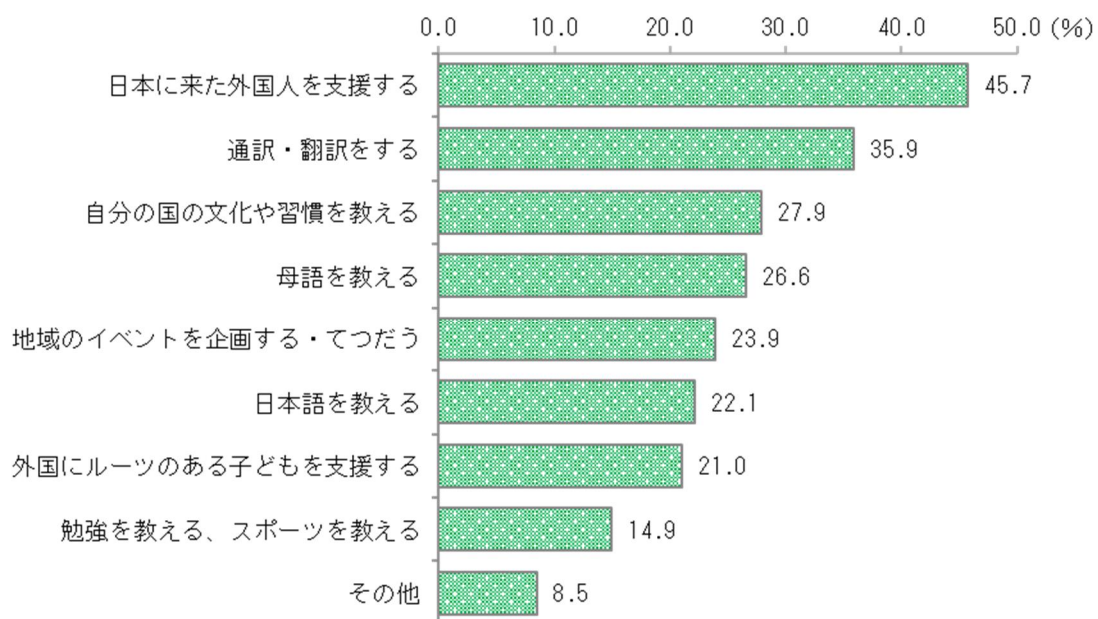
「思う」が45.9%、「思わない」及び「分からない」がともに27.0%となっている。



( n = 159 )

Q13. 今後やってみたいと思う活動は次のうちどれですか。(あてはまるものぜんぶ)

「日本に来た外国人を支援する」が45.7%で最も高く、次いで「通訳・翻訳をする」が35.9%、「自分の国の文化や習慣を教える」が27.9%、「母語を教える」が26.6%と続いている。

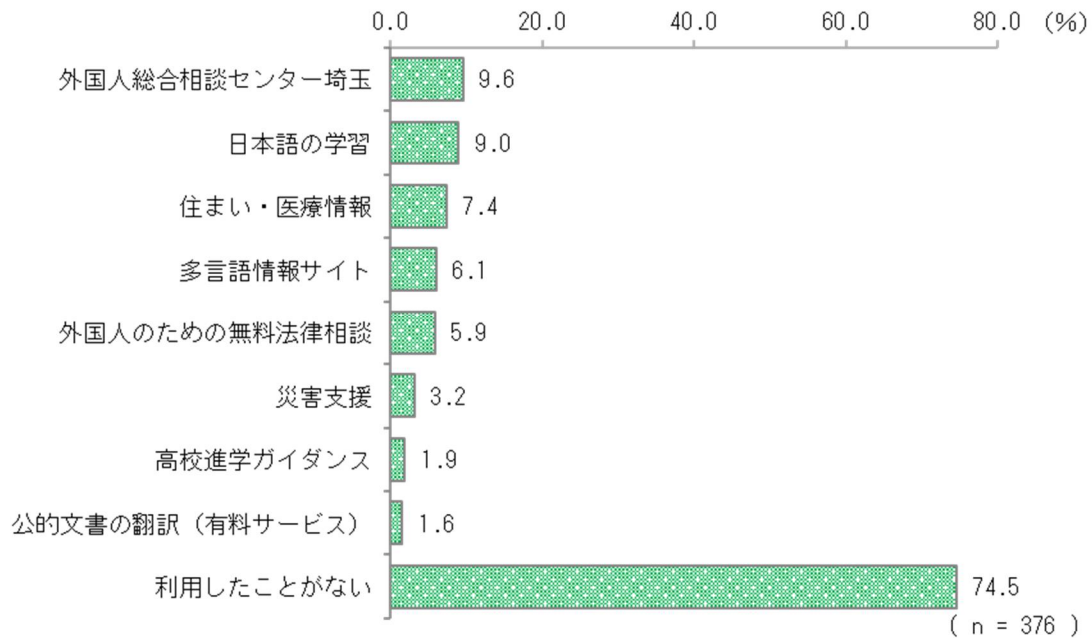


( n = 376 )

Q14. 埼玉県国際交流協会が提供するサービスで、利用したことがあるものはどれですか。  
(あてはまるものぜんぶ)

「利用したことがない」が74.5%となっている。

一方、利用したことがあるものは「外国人総合相談センター埼玉」が9.6%、「日本語の学習」が9.0%、「住まい・医療情報」が7.4%となっている。



Q15. 日本での生活について、意見を自由に書いてください。

日本での生活について、ご意見を伺ったところ、「特にない」などを除き、220名からの回答があった。一部内容を損ねない程度に修正し、抜粋して掲載する。

○ 多言語による情報提供について

【中国】

- 子どもの学校のプリントや歯科検診のお知らせ等を読む時、病院で医者にかかる時が不便である。
- 病院でのやり取りや手紙で、日本語がわからない。

【ベトナム】

- 駅の標識など、ベトナム語で示されたものがあればいいのと思う。なぜ、日本にはベトナム人が多いのに、標識や看板などにはベトナム語ではなく英語や韓国語が使われているのだろうか。

【タイ】

- 日本語が読めない外国人のために 市役所の書類や回覧板、ゴミ分別方法などはやさしい日本語や多言語で示されると、分かりやすいと思う。  
日本の文化やマナー、基本的なルールなど、日本人にとって当たり前のことでも、外国人にとっては理解しづらいこともある。日本人と外国人の間で問題ごとが起きないように、外国人が日本の文化などを知る機会が必要だと思う。

【インドネシア】

- 行政に関する重要なニュースや発表がたいてい日本語であるのは不便だ。理解するのに時間がかかる。

【ナイジェリア】

- 私は日本語が読めないので、政府の外国人向け支援の情報を見つけることができない。ぜひ、通訳配置と外国人支援の充実をお願いしたい。

## ○ 住宅について

### 【中国】

- 住まい探しの際、「外国人も住める」と書いてあるのに、不動産屋に尋ねるとまず国籍を問われる。その後、住めるか住めないかを決められる。どこの国の人かOKでNGなのか分からない。外国人の国籍によって違う対応をしているのかと思う。
- 不動産屋で家を貸してもらう時、外国人だから選べる部屋が限られてしまう。外国人でもルールをきちんと守る人はいるのに、外国人だからという理由で大家に断られるケースが多い。

### 【モンゴル】

- 不動産によって保証人が必要になるため、日本人の知り合いでなってくれる人がいないと大変。保証会社ではお金がかかる。県営・市営の住宅に入居したいが、入れる確率が低いと思う。

## ○ 労働について

### 【中国】

- 外国人向け無料日本語学習や就職の技能訓練があれば、より早く仕事が見つかり、社会にも溶け込める。失業、雇用難の問題解決にもなる。
- アルバイトですら外国籍がダメなところが多かった。仕事探しの際、国籍を伝えるのが気になっていて、現在、日本国籍を申請中である。

### 【フィリピン】

- 民間企業が外国人に日本語を学ぶ時間を与えてくれるといい。

## ○ 教育・子育て支援について

### 【中国】

- 保育園の食費、小学校の給食の無料化、放課後クラブの無料化など、子持ちの人への支援をもっとしてほしい。
- 子どもが日本の学校へ通い始めた頃、学校側が中国語の分かる先生を呼んで日本語の補習をしてくれた。あの時は本当に助かった。  
現在は、学校の面談時、子どもの学校での様子を知りたいと思っても、先生が言っていることを大まかにしか理解できず、大変だと感じている。
- 外国人に対し、偏見を持つ日本人が多い。多様性を認める活動を教育の中に取り入れてほしい。

【ウズベキスタン】

- 埼玉県には、外国人の子どものためのインターナショナルスクールが少ないので増やした方がいいと思う。

○ 行政サービスについて

【中国】

- 外国人だが、日本語しか話せない。もっと母国語を話したいと思うがきっかけがない。地域に外国人同士が交流して言葉を教え合うような場があればいいと思う。

【フィリピン】

- 日本で暮らすのに役立つことなどを共有したり、議論したりできるような、外国人のコミュニティが地域にあると助かると思う。

【ウズベキスタン】

- 外国人が困った時に本当に相談できる場所を増やした方がいいと思う。相談したくて電話をかけても、話を聞いてくれない場所もある。

【イギリス】

- 私が住む地域のウェブサイトはもう何年も更新されていない。最新の情報に更新してほしい。

【フランス】

- 8年間、日本に住んでいる私でも、病院の書類や契約書などの日常会話でない言葉になると理解が難しいので、それに関して支援があれば助かる。

○ 健康・医療について

【タイ】

- 外国人が日本の病院を受診する時、専門言葉を理解するのが難しい。簡単な言葉で説明してくれると嬉しい。

【ペルー】

- 病院などにもう少し通いやすくしてほしい。時に日本人の夫の付き添いなしで通わないといけないことがあり、簡単な日本語でもいいのでもう少し優しく接してほしい。

○ 日本人との関わりあいについて

【中国】

- 日本人は外国人に対し少し排他的で、深い付き合いをするのは難しい。普段は挨拶をする程度である。
- 私は大学の部活に入っていて、周りには日本人しかいないので、日本語を話す機会が多いが、他の留学生はこのような機会があまりないらしい。留学生が日本人と話す機会を作ってくれればと助かる。

【イギリス】

- 16年間も日本に住んでいて、それなり日本語も話せるのに、いつもよそ者扱いされる。日常生活でも、電車で隣に人が座らなかつたり、買い物をしていても店員に無視されたり、レジでは私にではなく同行している日本人の方に話をされる。また、警察官には何度も不当に呼び止められ、所持品の検査をされた。これは、日本人でないこと以外に理由はないと思う。

【アメリカ】

- 日本人は外国人に関心がないように感じられる。外国人との接し方、扱い方を変える文化が必要。日本人に「いつ帰国するの」と聞かれるのはもううんざり。

○ 日本語学習について

【中国】

- 日本語教室の時間をもっと増やしてほしい。

【ベトナム】

- 仕事をしながら日本語を学べるように、自宅の近くに日本語を教えるセンターがあるといい。

【イラン】

- 夜間中学の先生がボランティアで、自分の日本語力に伸び悩みを感じる。自分で勉強するにも限界があり、日本語教師の資格を持った人に教えてもらいたい。

【ウズベキスタン】

- 仕事で日本に来た外国人家族に日本語を教えるセンターが市役所内にあると、うれしい。



## IV 調査結果の見方

- 属性以外のグラフ数値は、有効回答者数を基数として算出した回答比率である。
- 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入したものであり、個々の比率の合計は100%にならないことがある。
- 複数回答可能な設問については、回答数の合計が回答者数を超え、回答比率の合計が100%を超えることがある。
- 図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

## V 調査回答画面

[ 6% / 100% ]

F1. 年齢<とし>を教えてください。(ひとつだけ)

- ~19歳
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳~

戻(もと)る

次(つぎ)へ

[ 10% / 100% ]

F2. あなたの国籍は次のどれですか。(ひとつだけ)

- 中国
- ベトナム
- フィリピン
- 韓国・朝鮮
- ネパール
- ブラジル
- その他

戻(もと)る

次(つぎ)へ

[ 13% / 100% ]

F3. 住んでいる市町村は、どちらですか。

市町村

戻(もと)る

次(つぎ)へ

F4. 日本にどのくらい、住んでいますか。(ひとつだけ)

- 1年未満
- 1年～3年未満
- 3年～5年未満
- 5年～10年未満
- 10年～20年未満
- 20年以上

戻(もど)る

次(つぎ)へ

F5. 在留資格は何ですか。(ひとつだけ)

- 留学
- 永住者
- 定住者
- 日本人の配偶者
- 家族滞在
- 技術・人文知識・国際業務
- 教育
- 経営・管理
- 技能実習
- 特定技能
- 特定活動
- その他

戻(もど)る

次(つぎ)へ

F6. あなたの仕事は何ですか。(ひとつだけ)

- 正社員
- パート・アルバイト
- 自営業
- 学生
- 主婦・主夫
- その他

戻(もど)る

次(つぎ)へ

F7.

あなたの母語<じぶんのくにのことは>は何ですか。(ひとつだけ)

- にほんご 日本語
- えいご 英語
- ちゅうごくご 中国語
- かんこく ちよんごんご 韓国・朝鮮語
- ポルトガル語
- スペイン語
- ベトナム語
- タガログ語
- ネパール語
- その他

戻(もど)る

次(つぎ)へ

にほんご かん  
日本語に関すること

Q1.

あなたは日本語でどれくらい会話<かいわ>はなす>ができますか。(ひとつだけ)

- しぜん ばや かいわ 自然な速さの会話<くふうにはなす>ができる
- ゆっくり 短い会話<はなす>ができる
- できない

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q2.

日本人と話して、困った時は、次のうちどれですか。(あてはまるものぜんぶ)

- しごと とき 仕事の時
- ちか す ひと ばな とき 近くに住んでいる人と話す時
- がっこう ばいこえん せんせい ばな とき 学校・保育園で先生と話する時
- びょういん かしや ばな とき 病院で医者と話する時
- やくしょ ひと ばな とき 役所の人と話す時
- か ちの みせ ひと ばな とき 買い物で店の人と話す時
- でんわ 電話
- その他

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q3.

日本語を読む時に難しかったのは、次のうちどれですか。(あてはまるものぜんぶ)

- やくしょ しんせしよ てがみ 役所の申請書・手紙
- ぎんこう しょるい 銀行の書類
- けいやくしょ 契約書
- がっこう ばいこえん てがみ 学校・保育園の手紙
- びょういん しょるい 病院の書類
- しょうひん せつめい 商品の説明
- イベントのチラシ・ポスター
- その他

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q4.

あなたは、どうやって日本語を勉強していますか。(あてはまるものぜんぶ)

- 無料<お金がかからない>の日本語教室
- 有料<お金がかかる>の日本語学校
- 職場ではたらいているところ>
- テレビ、ラジオ、インターネット
- 教科書、参考書
- その他
- 勉強していない

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q5.

オンライン日本語教室があったら参加したいと思いますか。(ひとつだけ)

- 無料<お金がかからない>なら参加したい
- 有料<お金がかかる>でも参加したい
- 参加したくない
- 分からない

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q6.

オンラインでの通訳サービスがあったら利用したいと思いますか。(ひとつだけ)

- 無料<お金がかからない>なら利用したい
- 有料<お金がかかる>でも利用したい
- 利用したくない
- 分からない

戻(もど)る

次(つぎ)へ

生活全般に関すること

Q7.

生活の中で困ったときに誰に相談しますか。(あてはまるものぜんぶ)

- 母国出身の友人や知人<おなじくにのひと・ともだち>
- 近くに住んでいる人
- 日本人の友人<ともだち>
- 母国出身以外<ちがうくに>の外国人の友人<ともだち>
- 日本語教室の人
- 民間の相談所やボランティア団体
- 役所の窓口
- 外国人総合相談センター埼玉くさいたまけんにすむがいがいこくじんがいがいこくごでそうだんできるまどぐち>
- その他
- 相談する人がいない

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q8.

災害<じしん・たいふう など>や感染症<ころな・いんふるえんざ など>についての情報、どのように受け取っていますか。(あてはまるものぜんぶ)

- 県ホームページ
- SNS
- 県以外のホームページ、インターネット
- テレビ・ラジオ
- ボランティアによる情報提供<しらせ>
- 外国人総合相談センター埼玉<さいたまけんに すむ がいこくじん が がいこくご で そうだん できる まどぐち>
- 近くに住んでいる人
- その他

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q9.

外国人住民が暮らしやすい地域にするために何が必要だと思えますか。(あてはまるものぜんぶ)

- 役所で外国語で相談ができる
- 外国語の生活情報がホームページにある
- 外国語の案内表示<みちやばしよのなまえ>を増やす
- 外国人住民が役所に意見<いけん>のかがえをいえる
- 外国人住民の子育てや子供の教育の支援<たすける>
- 日本語や日本の文化を学ぶ時間や場所を増やす
- 外国人住民と日本人が交流する<あう・はなす>時間や場所を増やす
- 日本人が外国の文化を理解<わかるとする>
- その他

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q10.

役所にしてほしいことは何ですか。(あてはまるものぜんぶ)

- 病氣やけがをした時に病院を使いやすくする
- 災害<じしん・たいふう など>から県民を守る
- 子育てを支援する<たすける>
- 仕事さがしや会社の経営を支援する<たすける>
- 住まい探しを支援する<たすける>
- 外国人が、日本語や日本の文化を勉強することを増やす
- 看板や案内表示<みちやばしよのなまえ>の多言語化<たくさんのがいこくごにする>
- 役所からのお知らせの多言語化<たくさんのがいこくごにする>
- その他

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q11-1.

家族に小学校・中学校・高校に行く年齢<とし>の子どもがいる人に聞きます。学校に通って<いって>いますか。(ひとつだけ)

- 通っている<いっている>
- 通っていない<いっていない> (子どもの年齢<とし>  才)
- 小学校・中学校・高校に行く年齢<とし>の子どもがいない

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q11-2.

子どもの学校へ行ったことがありますか。(ひとつだけ)

- 行ったことがある
- 行ったことがない

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q11-3.

子どもの教育で困ったことはありますか。(あてはまるものぜんぶ)

- 日本語ができない
- 勉強が分からない
- 友達がいらない・いじめがある
- 日本の文化・生活になじめない・くれない
- 進学についてくちゅうがく・こうこうに行く
- その他

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q11-4.

なぜ学校に通っていないくいていないのですか。(あてはまるものぜんぶ)

- 日本語がわからないから
- お金がないから
- 勉強が分からないから
- 友達がいらない・いじめがあるから
- 自分の国に帰る予定
- その他

戻(もど)る

次(つぎ)へ

地域・日本人との関わりについて

Q12-1.

住んでいる地域で、日本人とどのような交流・あはなすをしていますか。(あてはまるものぜんぶ)

- 近くに住んでいる人とあひさつをしている
- 自治会、町内会・くちかくにすむひとのあつまりのそりやイベントに参加している
- 職場はたらいているところ、学校のイベントに参加している
- その他
- 交流・あはなすがない

戻(もど)る

次(つぎ)へ



Q12-2.

住んでいる地域で同じ国の人や同じ宗教の人たちのコミュニティはありますか。(ひとつだけ)

- ある (コミュニティの名前: )
- ない
- わからない

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q12-3.

住んでいる地域で同じ国の人や同じ宗教の人たちのコミュニティがあったらよいと思いますか。(ひとつだけ)

- おも
- おも
- 思わない
- 思わない
- 分からない

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q13.

今後やってみたいと思う活動は次のうちどれですか。(あてはまるものぜんぶ)

- 日本語を教える
- 母語<じぶんのくにのことば>を教える
- 通訳・翻訳をする<にほんごを がいこくご にする・がいこくごを にほんご にする>
- 勉強を教える、スポーツを教える
- 自分の国の文化や習慣<せいかつのきまり>を教える
- 日本に来た外国人を支援する<たすける>
- 外国にルーツのある<かんけい する>子どもを支援する<たすける>
- 地域のイベントを企画する<かんがえる>・つづかう
- その他

戻(もど)る

次(つぎ)へ

Q14.

埼玉県国際交流協会が提供するサービスで、利用したことがあるものはどれですか。(あてはまるものぜんぶ)

- 外国人総合相談センター埼玉 (埼玉県に住む外国人が外国語で相談できる窓口)
- 外国人のための無料法律相談 (結婚・離婚、ビザ、事件・事故、仕事などの困ったことを弁護士に相談できます。)
- 災害支援 (災害の時の支援)
- 高校進学ガイド (大宮ソニックで開催。日本の高校に入るための方法が聞けます。相談もできます。)
- 日本語の学習 (日本語の教材と日本語教室の情報です。)
- 公的文書の翻訳 (有料サービス) (役所に出す書類の翻訳ができます。)
- 多言語情報サイト (外国人に役に立つお知らせを色々な言葉で見られます。)
- 住まい・医療情報 (外国人のための住むところや病院の情報です。)
- 利用したことがない

戻(もど)る

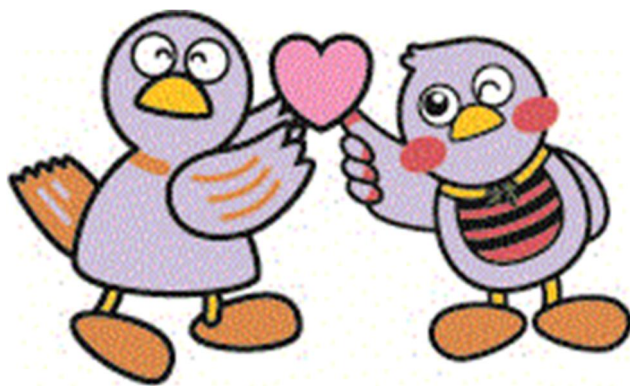
次(つぎ)へ

Q15.

にほん せいめつ いけん じゆう か  
日本での生活について、意見<じぶんの かんがえ>を自由に書いてください。

戻(もど)る

次(つぎ)へ



埼玉県マスコット 「コバトン」「さいたまっち」

令和4年度埼玉県外国人住民意識調査  
報告書

令和5（2023）年3月発行  
埼玉県 県民生活部 国際課

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号  
電話 : 048-830-2714